

本州で初確認されたクロフサスグリ(カシス)の害虫 スグリコスカシバの被害様相とその対策

りんご研究所

八戸市南郷区及び青森市高田のクロフサスグリ（別名カシス）の園地で、北海道に次いで二例目、本州ではじめて、スグリコスカシバの被害が確認されました。本種の発生は五戸町でも認められ、県内に広く生息し、クロフサスグリを加害していることがうかがえたので被害の様子と当面の対策を紹介します。

● 初確認

八戸市南郷区中野のクロフサスグリ被害枝から羽化した害虫は、名城大学の有田豊教授によりスグリコスカシバ *Synanthedon tipuliformis* と同定されました。（平成20年6月）

● スグリコスカシバの成虫と幼虫



● 被害枝の様相



● 対策

本種に農薬登録のある防除薬剤はありませんので、虫糞の発生が確認された場合、成虫羽化前の5月半ば頃までに被害枝や剪定枝を園外に運び出して、粉碎、または焼却処分してください。

お問い合わせ

りんご研究所・県南果樹部まで(Tel.0178-67-4111)